

(再評価)

資料 5-(1)
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(令和4年度第2回)

一般国道17号 渋川西バイパス

令和4年9月14日
国土交通省 関東地方整備局

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道17号	渋川西バイパス	L=2.8km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
18,500~27,800	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	231億円	49億円		280億円
うち残事業分	41億円	41億円		82億円
基準年における 現在価値 (C)	264億円	19億円		282億円
うち残事業分	38億円	16億円		53億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	18億円	3.2億円	0.71億円	22億円
基準年における 現在価値 (B)	314億円	58億円	13億円	384億円
うち残事業分	277億円	49億円	9.8億円	336億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	102億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.5%
費用便益比（残事業）	6.3
経済的純現在価値（残事業）	283億円
経済的内部収益率（残事業）	32.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	18,500~27,800 （台/日）	±10%	1.1~1.6
事業費	231億円	±10%	1.3~1.4
事業期間	22年	±20%	1.3~1.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	18,500~27,800 （台/日）	±10%	5.2~7.4
事業費	41億円	±10%	5.9~6.8
事業期間	3年	±20%	6.1~6.3

交通状況の変化

様式-3①_事業全体

事業名：一般国道17号 渋川西バイパス（事業全体）

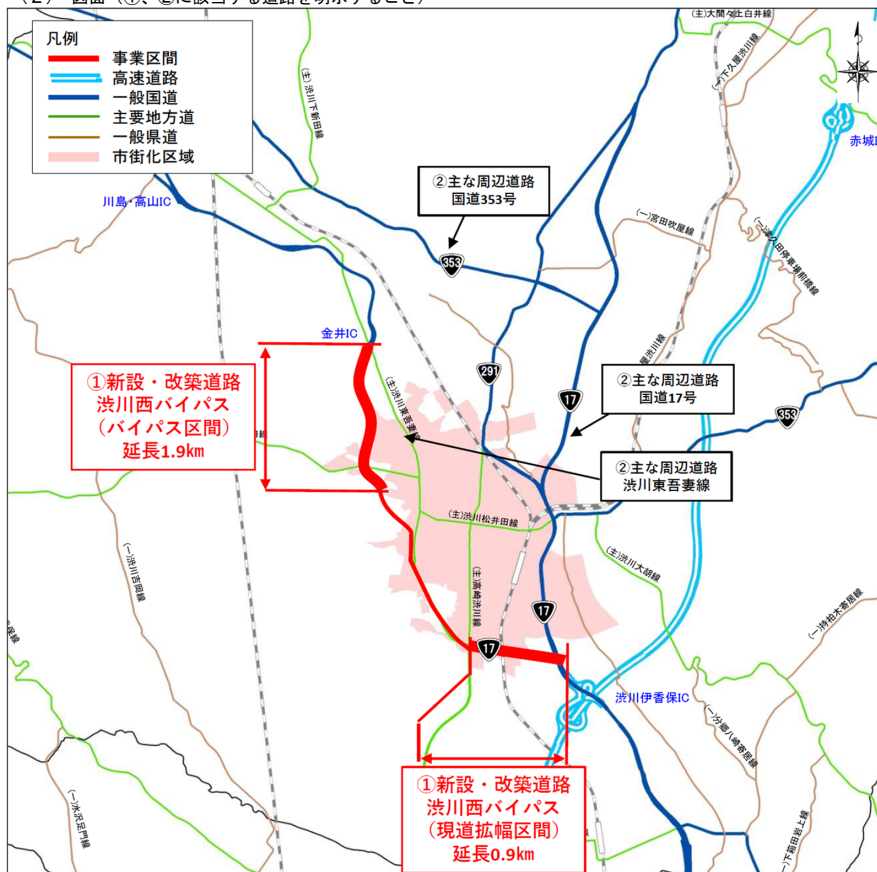
（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 2.8km	B/P区間 : 1.9km	交通量	[台/日]	—	18,500
		走行時間	[分]	—	2
		走行時間費用	[億円/年]	—	8.05
	拡幅区間 : 0.9km	交通量	[台/日]	10,400	27,500
		走行時間	[分]	2	1
		走行時間費用	[億円/年]	4.31	6.97
②主な周辺道路	国道17号 : 3.5km	交通量	[台/日]	35,000	31,400
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	37.34	32.00
	国道353号 : 3.6km	交通量	[台/日]	17,300	13,300
		走行時間	[分]	9	6
		走行時間費用	[億円/年]	31.11	14.89
	(主) 渋川東吾妻線 : 1.8km	交通量	[台/日]	14,900	7,100
		走行時間	[分]	6	4
		走行時間費用	[億円/年]	16.12	5.73
③その他道路合計 : 1,841.5km		走行時間費用	[億円/年]	5,709.66	5,713.80

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計 : 1,853.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,798.54	5,781.44	17.10

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①_残事業

事業名：一般国道17号 渋川西バイパス（残事業）

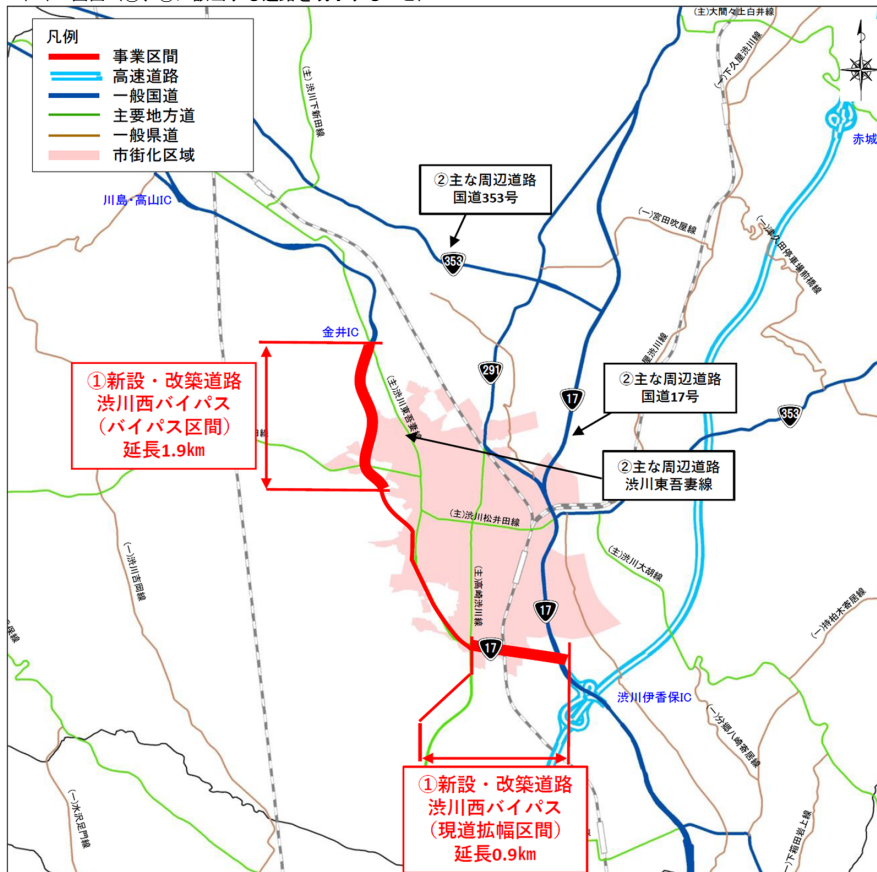
(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 2.8km	B/P区間 : 1.9km	交通量	[台/日]	—	18,500
		走行時間	[分]	—	2
		走行時間費用	[億円/年]	—	8.05
	拡幅区間 : 0.9km	交通量	[台/日]	21,300	27,500
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	4.82	6.97
②主な周辺道路	国道17号 : 3.5km	交通量	[台/日]	34,800	31,400
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	37.23	32.00
	国道353号 : 3.6km	交通量	[台/日]	17,100	13,300
		走行時間	[分]	9	6
		走行時間費用	[億円/年]	29.81	14.89
	(主) 渋川東吾妻線 : 1.8km	交通量	[台/日]	15,200	7,100
		走行時間	[分]	7	4
		走行時間費用	[億円/年]	21.10	5.73
③その他道路合計 : 1,841.5km		走行時間費用	[億円/年]	5,703.60	5,713.80

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計 : 1,853.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,796.56	5,781.44	15.12

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名:一般国道17号 渋川西バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和4年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()		<input type="checkbox"/>	

費用便益分析の条件

事業名：一般国道17号 渋川西バイパス

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道17号 渋川西バイパス(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.38	2.8	1.07

年次	年度 (基準年:R4)	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-22年目	H 16	2.0258	105.0	0.16	0.32				
-21年目	H 17	1.9479	103.7	0.25	0.48				
-20年目	H 18	1.8730	103.0	0.48	0.88				
-19年目	H 19	1.8009	102.1	0.96	1.73				
-18年目	H 20	1.7317	101.6	0.54	0.94				
-17年目	H 21	1.6651	100.3	1.25	2.11				
-16年目	H 22	1.6010	98.6	1.80	2.98				
-15年目	H 23	1.5395	97.2	3.90	6.30				
-14年目	H 24	1.4802	96.4	6.41	10.03				
-13年目	H 25	1.4233	96.4	4.37	6.58				
-12年目	H 26	1.3686	98.7	9.10	12.86				
-11年目	H 27	1.3159	100.2	10.40	13.92				
-10年目	H 28	1.2653	100.3	7.55	9.70				
-9年目	H 29	1.2167	100.5	24.72	30.50				
-8年目	H 30	1.1699	100.4	24.06	28.57				
-7年目	R 1	1.1249	101.2	25.93	29.37				
-6年目	R 2	1.0816	101.9	20.21	21.86				
-5年目	R 3	1.0400	101.9	26.08	27.13				
-4年目	R 4	1.0000	101.9	21.99	21.99				
-3年目	R 5	0.9615	101.9	13.72	13.19				
-2年目	R 6	0.9246	101.9	13.72	12.68				
-1年目	R 7	0.8890	101.9	13.26	11.79				
供用開始年次	R 8	0.8548	101.9			0.97	0.83		
1年目	R 9	0.8219	101.9			0.97	0.80		
2年目	R 10	0.7903	101.9			0.97	0.77		
3年目	R 11	0.7599	101.9			0.97	0.74		
4年目	R 12	0.7307	101.9			0.97	0.71		
5年目	R 13	0.7026	101.9			0.97	0.68		
6年目	R 14	0.6756	101.9			0.97	0.66		
7年目	R 15	0.6496	101.9			0.97	0.63		
8年目	R 16	0.6246	101.9			0.97	0.61		
9年目	R 17	0.6006	101.9			0.97	0.58		
10年目	R 18	0.5775	101.9			0.97	0.56		
11年目	R 19	0.5553	101.9			0.97	0.54		
12年目	R 20	0.5339	101.9			0.97	0.52		
13年目	R 21	0.5134	101.9			0.97	0.50		
14年目	R 22	0.4936	101.9			0.97	0.48		
15年目	R 23	0.4746	101.9			0.97	0.46		
16年目	R 24	0.4564	101.9			0.97	0.44		
17年目	R 25	0.4388	101.9			0.97	0.43		
18年目	R 26	0.4220	101.9			0.97	0.41		
19年目	R 27	0.4057	101.9			0.97	0.39		
20年目	R 28	0.3901	101.9			0.97	0.38		
21年目	R 29	0.3751	101.9			0.97	0.36		
22年目	R 30	0.3607	101.9			0.97	0.35		
23年目	R 31	0.3468	101.9			0.97	0.34		
24年目	R 32	0.3335	101.9			0.97	0.32		
25年目	R 33	0.3207	101.9			0.97	0.31		
26年目	R 34	0.3083	101.9			0.97	0.30		
27年目	R 35	0.2965	101.9			0.97	0.29		
28年目	R 36	0.2851	101.9			0.97	0.28		
29年目	R 37	0.2741	101.9			0.97	0.27		
30年目	R 38	0.2636	101.9			0.97	0.26		
31年目	R 39	0.2534	101.9			0.97	0.25		
32年目	R 40	0.2437	101.9			0.97	0.24		
33年目	R 41	0.2343	101.9			0.97	0.23		
34年目	R 42	0.2253	101.9			0.97	0.22		
35年目	R 43	0.2166	101.9			0.97	0.21		
36年目	R 44	0.2083	101.9			0.97	0.20		
37年目	R 45	0.2003	101.9			0.97	0.19		
38年目	R 46	0.1926	101.9			0.97	0.19		
39年目	R 47	0.1852	101.9			0.97	0.18		
40年目	R 48	0.1780	101.9			0.97	0.17		
41年目	R 49	0.1712	101.9			0.97	0.17		
42年目	R 50	0.1646	101.9			0.97	0.16		
43年目	R 51	0.1583	101.9			0.97	0.15		
44年目	R 52	0.1522	101.9			0.97	0.15		
45年目	R 53	0.1463	101.9			0.97	0.14		
46年目	R 54	0.1407	101.9			0.97	0.14		
47年目	R 55	0.1353	101.9			0.97	0.13		
48年目	R 56	0.1301	101.9			0.97	0.13		
49年目	R 57	0.1251	101.9			0.97	0.12		
合計				212.53	263.62	48.64	18.58		
単純事業費計				230.87		48.64			

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道17号 渋川西バイパス(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)
0.48	1.9	0.91

年次	年度 (基準年:R4)	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-3年目	R 5	0.9615	101.9	13.72	13.19				
-2年目	R 6	0.9246	101.9	13.72	12.68				
-1年目	R 7	0.8890	101.9	13.26	11.79				
供用開始年次	R 8	0.8548	101.9			0.83	0.71		
1年目	R 9	0.8219	101.9			0.83	0.68		
2年目	R 10	0.7903	101.9			0.83	0.65		
3年目	R 11	0.7599	101.9			0.83	0.63		
4年目	R 12	0.7307	101.9			0.83	0.60		
5年目	R 13	0.7026	101.9			0.83	0.58		
6年目	R 14	0.6756	101.9			0.83	0.56		
7年目	R 15	0.6496	101.9			0.83	0.54		
8年目	R 16	0.6246	101.9			0.83	0.52		
9年目	R 17	0.6006	101.9			0.83	0.50		
10年目	R 18	0.5775	101.9			0.83	0.48		
11年目	R 19	0.5553	101.9			0.83	0.46		
12年目	R 20	0.5339	101.9			0.83	0.44		
13年目	R 21	0.5134	101.9			0.83	0.42		
14年目	R 22	0.4936	101.9			0.83	0.41		
15年目	R 23	0.4746	101.9			0.83	0.39		
16年目	R 24	0.4564	101.9			0.83	0.38		
17年目	R 25	0.4388	101.9			0.83	0.36		
18年目	R 26	0.4220	101.9			0.83	0.35		
19年目	R 27	0.4057	101.9			0.83	0.34		
20年目	R 28	0.3901	101.9			0.83	0.32		
21年目	R 29	0.3751	101.9			0.83	0.31		
22年目	R 30	0.3607	101.9			0.83	0.30		
23年目	R 31	0.3468	101.9			0.83	0.29		
24年目	R 32	0.3335	101.9			0.83	0.28		
25年目	R 33	0.3207	101.9			0.83	0.27		
26年目	R 34	0.3083	101.9			0.83	0.26		
27年目	R 35	0.2965	101.9			0.83	0.25		
28年目	R 36	0.2851	101.9			0.83	0.24		
29年目	R 37	0.2741	101.9			0.83	0.23		
30年目	R 38	0.2636	101.9			0.83	0.22		
31年目	R 39	0.2534	101.9			0.83	0.21		
32年目	R 40	0.2437	101.9			0.83	0.20		
33年目	R 41	0.2343	101.9			0.83	0.19		
34年目	R 42	0.2253	101.9			0.83	0.19		
35年目	R 43	0.2166	101.9			0.83	0.18		
36年目	R 44	0.2083	101.9			0.83	0.17		
37年目	R 45	0.2003	101.9			0.83	0.17		
38年目	R 46	0.1926	101.9			0.83	0.16		
39年目	R 47	0.1852	101.9			0.83	0.15		
40年目	R 48	0.1780	101.9			0.83	0.15		
41年目	R 49	0.1712	101.9			0.83	0.14		
42年目	R 50	0.1646	101.9			0.83	0.14		
43年目	R 51	0.1583	101.9			0.83	0.13		
44年目	R 52	0.1522	101.9			0.83	0.13		
45年目	R 53	0.1463	101.9			0.83	0.12		
46年目	R 54	0.1407	101.9			0.83	0.12		
47年目	R 55	0.1353	101.9			0.83	0.11		
48年目	R 56	0.1301	101.9			0.83	0.11		
49年目	R 57	0.1251	101.9	0.00	0.00	0.83	0.10		
合計				40.70	37.66	41.36	15.80		
単純事業費計				40.70		41.36			

注1)事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	渋川西バイパス	4	2.8

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
①	工事費				16,960	
	改良費				14,706	
		土工	m ³	355,295	2,658	土砂運搬工・土砂購入等の増
		軟弱地盤改良工	m ³	165,000	7,590	地盤改良工(高圧噴射攪拌工)の追加
		法面工	m ²	25,528	149	
		擁壁工	式	1	735	
		管渠工	m			
		函渠工	m	280	572	
		排水工	m	8,871	344	
		中央分離帯工	m	2,244	91	
		雑工	式	1	2,567	法面安定対策工の増
	橋梁費				1,047	
		100m以上	m	196	313	
		100m未満	m	107	734	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,035	
		車道舗装	m ²	47,557	1,035	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				172	
		交通管理施設工	式	1	172	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				6,646	
	用地費		m ²	90,274	1,834	
		宅地	m ²	30,449	881	
		田畑	m ²	41,436	911	
		山林・原野	m ²	18,389	42	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	4,812	
③	間接経費		式	1	1,395	
	全体事業費				25,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	渋川西バイパス	4	1.9

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
①	工事費				4,127	
	改良費				3,354	
		土工	m ³	49,107	593	
		軟弱地盤改良工	m ³	22,805	1,695	
		法面工	m ²	3,528	33	
		擁壁工	式	1	164	
		管渠工	m			
		函渠工	m	39	128	
		排水工	m	1,226	77	
		中央分離帯工	m	2,244	91	未施工
		雑工	式	1	573	
	橋梁費					
		100m以上	m			R4末時点施工完了
		100m未満	m			R4末時点施工完了
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				630	
		車道舗装	m ²	43,507	630	中村～石原控除
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				143	
		交通管理施設工	式	1	143	中村～石原控除
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				100	
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			用地買収完了
		田畑	m ²			用地買収完了
		山林・原野	m ²			用地買収完了
		その他	m ²			用地買収完了
	補償費		式	1	100	
③	間接経費		式	1	250	
	全体事業費				4,477	残事業費 4477

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.8	800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,550	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			5,350	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.9	550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,000	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,550	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

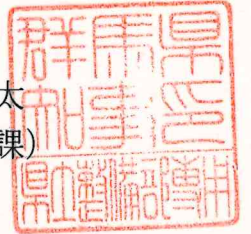
【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

建企第16-4号
令和4年8月30日

国土交通省
関東地方整備局長 様

群馬県知事 山本 一太
(県土整備部建設企画課)



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

令和4年8月24日付け国関整企画第95号で照会のあった標記について、別紙のとおり回答します。

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」 案※	群馬県知事の意見
一般国道17号 渋川西BPバイパス	継続	本事業は、本県の渋川・吾妻地域の連携強化や活性化に大きく寄与する上信自動車道の一部(起点区間)を担うとともに、国道17号の交通渋滞の緩和や道路交通の安全性向上等を図るうえで重要な事業であり、早期完成に向けて事業推進を図られたい。 なお、コスト縮減を徹底し、効率的、効果的に事業を推進されたい。

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。